

## ニホンリスのフィールドサイン

津軽白神森林生態系保全センター 専門官 有本 実

車で林道を走っていると、突如シュタタツ!と猛スピードで道路を横切り木の幹を駆け上がるニホンリス①。彼らとの出会いはいつも突然かつ一瞬ですが、食痕や足跡であればじっくり観察できるものです。今回は、哺乳類の中でも分かり易いニホンリスのフィールドサインをご紹介します。

松林の中で簡単に見つけれられて森林教室の話題のネタになるのが、松ぼっくりの食痕②。鱗片部を剥がして種子を食べた形状がエビフライに似ていて、子ども達に「これは何の仕業でしょう?」とクイズを出すと盛り上がります。オニグルミの食痕③は、大きな樹洞の中や切株の上などで良く見つかります。③の写真で半分に割られているのがリスによるもので、側面に丸い穴が開けられているのはネズミ類の食痕です。食べるのが下手な若いネズミほど開ける穴が大きい、という話もよく使うネタですね…

今の時期に雪の積もった林内を散策すると、様々な動物の足跡が見つかります。ニホンリスの足跡は、大小の“ハ”の字を上下逆さに並べたような特徴的な形です④。写真下段の小さな“ハ”が前足、上段のひっくり返った大きな“ハ”が後ろ足で、進行方向は上側になります。これも森林教室では「どっちに進んでいるでしょう?」と良いネタになります。

ニホンリスは冬に備えて地面を浅く掘り、ドングリなどを貯蔵する習性があります。最後に、④を撮影した時に出くわした面白い光景をご紹介します。一箇所にリスの足跡が散乱し地面が掘り返されていて、穴の中心にはオニグルミが一つ⑤。クルミは雪面にガッチリと凍りついていて、びくともしません。『さあ食べよう…ん?と、とれない!』と焦るリスの顔を想像して笑ってしまいました。



①ニホンリス



②松ぼっくりの食痕



③オニグルミの食痕



④雪上の足跡



⑤食べようとしたら…